

学校感染症情報 症候群サーベイランスシステムについて

三重県では、各学校施設に協力していただき、感染症による欠席者情報を毎日このシステムに入力していただいています。

入力していただいた情報を活用して子どもたちの健康を守るために、各学校施設が対応をできるように、専門機関と連携し、感染症の拡大を防止します。

津保健所では、津市内の学校の感染症による欠席者傾向を毎月まとめさせていただき、情報提供いたします。



令和 7年 7月の様子 ～津市内の学校感染症情報～



(令和7年8月4日入力分を集計)

月を通して感染が多くみられた疾患

百日咳、マイコプラズマ感染症、ヘルパンギーナ

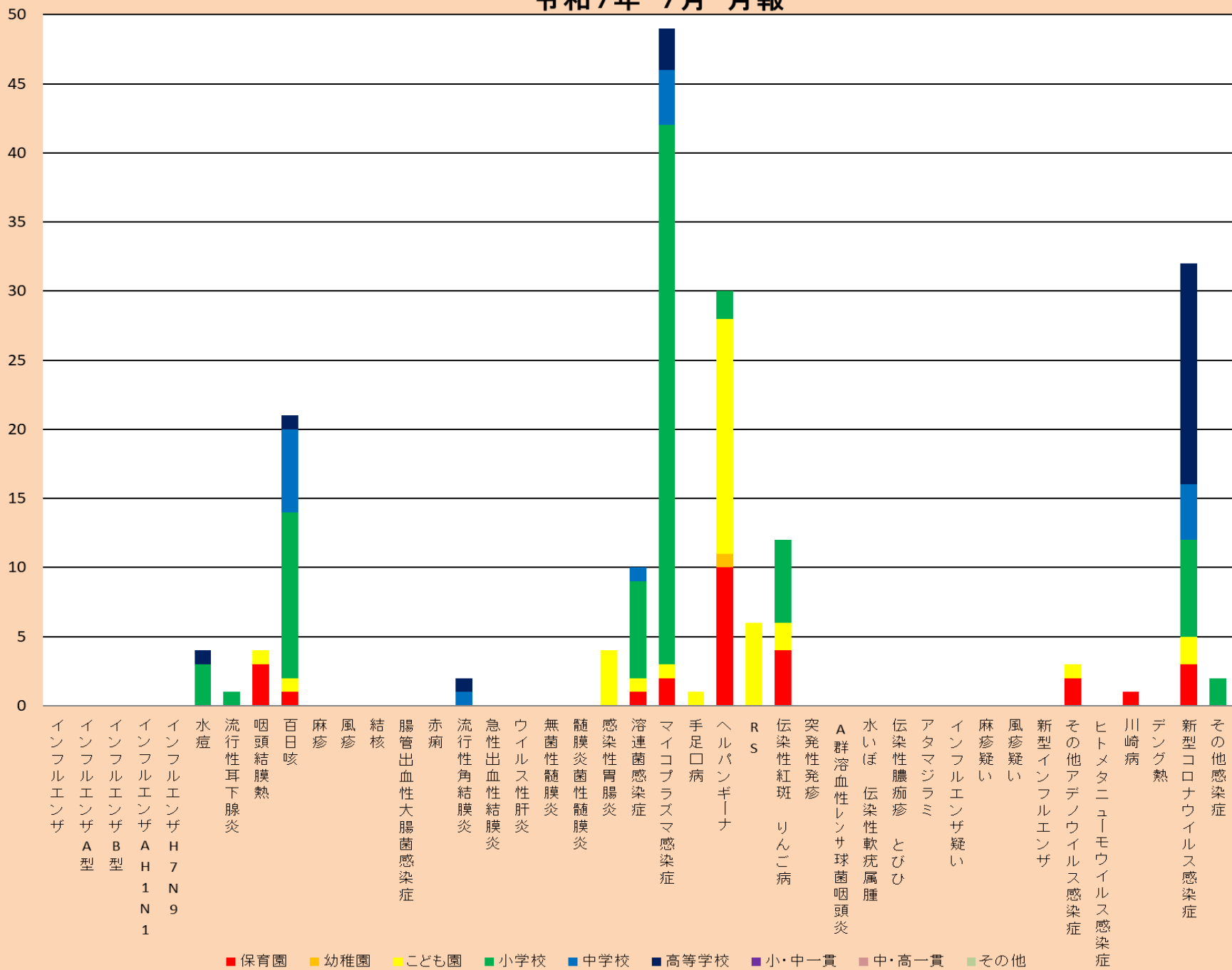
感 染 症 動 向

百日咳、マイコプラズマ感染症が増加しています。
また、ヘルパンギーナが6月と比べ3倍程増加しています。
溶連菌感染症、手足口病、伝染性紅斑（りんご病）は減少しています。
新型コロナウイルス感染症は若干増加傾向です。

[学校症候群サーベイランスシステム] 令和7年7月 月報

疾患名	インフルエンザ	インフルエンザA型	インフルエンザB型	インフルエンザAH1N1	インフルエンザH7N9	水痘	流行性耳下腺炎	咽頭結膜熱	百日咳	麻疹	風疹	結核	腸管出血性大腸菌感染症	赤痢	流行性角結膜炎	急性出血性結膜炎	ウイルス性肝炎	無菌性髄膜炎	髄膜炎菌性髄膜炎	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	マイコプラズマ感染症	手足口病	ヘルパンギーナ	RS	伝染性紅斑 りんご病	突発性発疹	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	水いぼ 伝染性軟疣属腫	伝染性膿痂疹 とびひ	アタマジラミ	インフルエンザ疑い	麻疹疑い	風疹疑い	新型インフルエンザ	その他アデノウイルス感染症	ヒトメタニューモウイルス感染症	川崎病	デング熱	新型コロナウイルス感染症	その他感染症	
津市(人)	0	0	0	0	0	4	1	4	21	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4	10	49	1	30	6	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	32	2

令和7年 7月 月報





最近話題の感染症

百日咳



長引く咳には
要注意！

百日咳菌によって起こり、特有のけいれん性の咳発作を特徴とする急性気道感染症です。一年を通じて発生が見られますが、春から夏、秋にかけての発生が比較的多いです。

いずれの年齢でもかかりますが、小児が中心となり、生後6ヶ月未満の乳児では重症化しやすく、命に関わることもあります。

感染症発生動向調査によると、三重県内でも3月下旬から現在まで例年になく発生が多くなっています。特に10～14歳の年齢で感染が多く見られます。

●症状

7～10日間程度の潜伏期を経て、普通のかぜ症状で始まり、次第に咳の回数が増えて激しくなります。発熱することは少ないです。激しい咳発作は次第に減っていきませんが、回復するのに2～3週間から数か月もかかることがあります。

●感染経路

鼻咽頭や気道からの分泌物による飛沫感染、および接触感染。

●治療・予防法

百日咳にかかったら、職場や学校を休んで、通院以外の外出を控えましょう。通常、患者からの菌排出は咳の開始から約3週間続きますが、適切な抗菌薬治療により、服用から5日程度で周囲への感染力は著しく弱くなります。

予防にはワクチン接種が有効です。乳幼児期に定期予防接種があり、標準的には、生後3ヶ月～12か月に3回接種し、1年～1年半後に1回追加接種となっています。

